

益田市グローバルリーダー養成事業 現地プレゼン練習会 1月16日

2月に海外研修（タイ王国訪問）を控えた11名が、**現地で行うプレゼンテーションを持ち寄り、発表・評価しあいました。**

これまでの現地プレゼンテーションは、専門研究分野についてスライドを作成し、大勢の聴衆の前で発表する形式で、本校理数科と益田翔陽高校生物環境工学科からの参加者が「課題研究」の成果を英訳したり、普通科の生徒は4校合同チームを作って「益田市の魅力」を伝えるスライドを作成したりして準備していました。

しかし**昨年度までの反省**より、「タイの学生に発表テーマに関心を持ってもらにくい。」「時間をかけて準備したが、質疑応答があまり活発に行われなかった。」といった点を**改善するため、今年度は研修を小規模のグループディスカッションに変更しています。**

今年度の参加者には「自分の担当箇所」などありません。全ての原稿と質疑応答への準備を自力で行い、発表は手作りの紙芝居を使って発表します。理数科の多くの生徒は自身の「課題研究」のテーマを英語でまとめて発表しますが、**普通科の生徒もSSHプログラム「課題探究」のテーマをまとめたり、自主的に参加している地域活動の紹介をするなど、それぞれ視点の異なるプレゼンテーションを用意していました。**

アセスメントシートを用いてフィードバックを返す参加者たち



益田市高校教育魅力化コーディネーターの後川さんからは、「例えば部活動という考え方1つとっても、**文化が異なると一般常識ではない。それは何？とかなぜその研究に興味があるの？**といった質問を、**常に意識して準備を。**」とアドバイスを受けました。



コミュニケーションがうまくいくことも勿論ですが、質問に充分答えられないといった悔しい思いも経験して欲しいと思います。